# くしろ

## ともに創りあげる社会をめざして

# 男女共同参画通信

Vol. 9

発行日:平成16年10月8日

〒085-0018 釧路市黒金<mark>町7</mark>丁目4番 釧路市教育委員会生涯学習部生涯学習課

31-4579 Fax22-9096

## 地域社会における男女共同参画

平成 16 年版男女共同参画白書から一

(単位%)

平成 15 年度の男女共同参画社会形成の状況を報告したものです。

国際婦人年(1975年)以降、男女 共同参画社会実現のための法律・制 度などの枠組の充実が図られてきま したが、国会議員や管理職に占める 女性割合などの指標でみると、その 歩みは緩やかです。

				· · · · · ·
主な進展状況	S.50	S.60	H.7	H.15
国会議員(衆議女性)	1.2	1.4	4.6	7.1
管理的職業女性割合	5.3	6.6	8.9	9.7
男性賃金の女性割合	58.8	59.6	62.5	66.8

主な男女共同参画の進展状況

#### 注 男性賃金 100 に対しての女性割合

### 男女の意識の変化

男女ともに女性が就業することを肯定的にとらえる意識は着実に増加しています。特に、男性では平成4年から10年間で「中断なく就業」を支持する者が急増し、「一時中断型」を支持する者と合わせると7割近くの男性が女性の就業に肯定的な考え方をもっています。

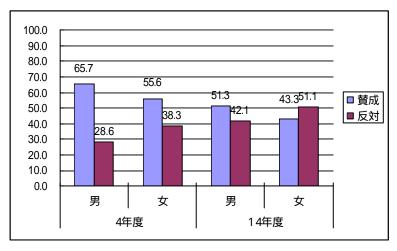
女性は「一時中断型」が最も多く、「中断なく就業」を望む男性の意識とずれを生じていますが、依然として女性が家庭での家事・育児を主に担っている状況は変わらず、女性の就労を肯定しつつも半数近くの人が「夫は仕事、妻は家庭」との固定的役割分担意識の考え方に賛成しているものと思われます。

平成4年との比較では、この10年間で反対の割合がかなり増加してはいますが、男性の51.3%、女性の43.3%の人が賛成しており、男女とも反対の割合とほぼ拮抗する状況となっています。

世代別で最も反対の多かったのが 男性では20代、女性では30代で最も 少なかったのは男女とも70歳以上で、 男性より女性の方が世代間の考え方に より大きな隔たりのある点が特徴です。

### 釧路市の場合

「男は仕事、女は家庭」についての意識調査(H.12) 共感する 男性 40.7%・女性 27.5% 共感しない 男性 28.3%・女性 46.0% 「夫は仕事、妻は家庭」と言う考えについてどう思うか〔単位%〕



役割分担についての考えかたについては、肯定派 と否定派がほぼ2分されているが、女性の約半数が 共感しないとしているのに対し、男性には分担意識 が根強く残っていることがうかがえます。





## 女性学・ジェンダー研究・交流フォーラムに参加して

主催 国立女性教育会館(埼玉県嵐山町) 8月26日~30日

釧路市では、地域で活躍する女性たちに学習の機会を提供することを目的として「釧 路市女性道外派遣研修事業」を実施していますが、平成16年度も一般公募者の中から3 名を国立女性教育会館主催の「フォーラム」に派遣しました。

参加者は、6回のワークショップ、女性関連施設の視察など5日間の日程を終えて帰 釧しました。

以下、3名の参加者の研修レポートから感想の一部を紹介します。

#### 片村裕子さん 各分野で活躍する人の話はとても刺激的でしたー

今回の研修に参加して、各分野で活躍している方たちのお話を聴いたことはとても 刺激的でした。

私にとって「男女共同参画」というのは、真っ白なキャンバスからの出発でした。 何時の時代にも非難や批判に負けずに地道に努力をしてきた人達がおり、こうした先人達が現 在の男女平等への歩みを進めてきたことを改めて学びました。

素敵な人との出会いや勉強してきたことを無駄にしないように、少しでも還元でき る方法がないかとずーと考えていきたいと思います。

#### 大澤尚江さん - 女性学だけでなくちゃんと男性学もあった

このフォーラムに参加して一番感じたことは、捉えどころのないパワーでした。 様々な年代の女性が、同じ目的を持って集まり、学習・交流を深める光景にとてつ もないパワーを感じました。

景気が低迷し、どこか閉塞感のある社会でこのパワーを発揮することが出来たら、 もっと元気になるだろうと思います。

また、男女共同参画なのになぜ、女性学だけなのか疑問を感じていましたが、ち ゃんと男性学のあることも確認できました。

今回のフォーラム参加は日常生活の中で自分がいつでも「平和」や「平等」につ いて意識しなければならないということを気づく良いきっかけになりました。

#### 菅原祥子さん - フォーラムに参加できてよかったー

「一度嵐山で研修を受けたら、自分を別の角度から見直すことができるから」と聞い ていたのですが。

全国から集まった、様々な「体験」をもつ女性たち(男性も)と接して学習力の高 さ、パワーに驚き圧倒されました。

事前に決めていたワークショップも会場で気になった「性同一性障害」のワークシ ョップに急遽変更したり、盛り沢山の研修に参加できました。

引き出しに詰め込み、学んだことをこれからの生活に少しづつ引き出すことができ たらと思っています。